

第8回大阪圏ライフサイエンス推進協議会

(議事要旨)

日時:平成20年8月4日(月)

14:00～16:00

場所:大阪府庁舎本館2階 第3委員会室

1 開会

2 挨拶

内閣官房地域活性化統合事務局次長(以下、座長)より挨拶。

地域活性化統合事務局(以下、事務局)より、率直な意見交換を担保するため、協議会は非公開、また議事要旨や配布資料については公開とする旨説明し、了承。

3 委員紹介、資料確認

4 協議会設置要綱の改正

事務局より、協議会委員の組織変更に伴う変更について説明し、了承。

5 進捗状況に関する報告

(1)関西全体の進捗状況報告

- ・ 関西バイオ推進会議事務局長より、基本構想に掲げる16のプロジェクトの進捗状況の報告。
- ・ 今年度は、海外のバイオクラスターに対する情報発信機能を高めるため、バイオクラスター連携委員会を設置し、2名の専門コーディネーターの配置、約450社のデータベース化など一体的な推進体制を構築。

(2)各プロジェクトの取組報告

①大阪府

- ・ 彩都ライフサイエンスパークにおいて、職住近接の未来都市型バイオクラスター形成を目指している。バイオインキュベーション施設の3棟目が10月開館予定。治験等のベンチャー企業が入居。ほぼ満室の状況。
- ・ 橋下府政においてバイオ産業推進は重点施策と位置付け、予算大幅増。
- ・ 今年度からヘッドクォーター体制を構築し、情報発信機能を強化。
- ・ 今後、スーパー特区の認定を目指す。

②京都府

- ・ 関西学研都市メディカルコンプレックス構想を推進中。バイオ、IT、環境、レーザー等ライフサイエンス分野の集積を目指す。
- ・ 京都府予防医学研究センターを活用し、生活習慣病予防を目指す。
- ・ 光医療バレー構想におけるレーザーによる光医療機器の開発を進める。

③兵庫県

- ・ SPring-8をはじめとする光科学技術分野の研究、播磨科学公園都市における光科学分野の国際拠点形成を目指す。
- ・ 兵庫県COEプログラムによる産官学連携研究プロジェクトを実施。立ち上げ支援を鋭意実施している。

④奈良県

- ・ 知的クラスター創成事業を終え、研究成果を応用発展させるため、文科省採択を受けて「都市エリア産官学連携促進事業(発展型)」を今年度から3年間で実施。①妊婦見守り ②泌尿器計測 ③生活習慣病予防のための無拘束・低侵襲・リアルタイムな生体計測デバイスの開発を目指す。
- ・ 2つ目のプロジェクトとして、健康関連産業の新事業展開プロジェクトを実施。奈良県特産の植物素材を活用するための実用化技術開発行う。

⑤滋賀県

- ・ 長浜バイオ大学の創立、大学院の整備、長浜バイオサイエンスパークの企業誘致等を進めている。概ね順調に推移。
- ・ 長浜バイオネットワーク事業を推進し、地域企業、大学、産業支援等ネットワーク構築と地域の中小企業によるバイオ分野への進出を促進。
- ・ 滋賀バイオ産業推進機構による情報収集提供や人材育成等を実施。
- ・ まもなく特区期間が切れるため、今後の取組方向の検討が課題。

⑥和歌山県

- ・ 豊富な農林水産資源を活用し、「アグリ・食品バイオ」「環境バイオ」関連産業の創出等を目指す和歌山バイオ戦略を推進。
- ・ 既存の研究機関を有効・重点活用し、ネットワーク化により産官学連携基盤確立・強化し、一体的な施策展開を目指す。

⑦徳島県

- ・ 徳島大学を核とした健康・医療クラスター形成を目指している。
- ・ 本県は14年連続で糖尿病死亡率ワースト1。ようやく脱却したが現在もワースト6。
- ・ 「糖尿病死亡率の改善」「世界レベルの糖尿病研究開発拠点形成」が大きなテーマ。
- ・ 今年度は構想の再構築を図るとともに、拠点形成のための基盤固めを行いたい。

⑧三重県

- ・ みえメディカルバレー構想を策定し、県民の健康をめざしたプロジェクトを推進。
- ・ 本県では、実施体制が充実。みえメディカルバレー研究会では11の研究会、700名の会員が車輪のひとつとなって、産官学民連携、研究開発や技術開発の促進を目指している。
- ・ 6年が経過し、現在、再構築について検討しているところ。

⑨大阪市

- ・ 本市では、健康・予防医療産業創出事業を推進、関連企業の集積を図る。
- ・ 健康関連新商品の研究助成として、17年度3件、18年度4件、19年度2件を採択。
- ・ 広域マッチング事業として、大阪の企業と他県の企業との商談会等行っている。

⑩京都市

- ・ 本市では、京都バイオシティ構想を策定し、①医学と工学の融合分野、②環境分野、③地域資源を活用した分野において研究開発やバイオベンチャー企業の育成を進めている。
- ・ 今年度から、医・エ・ライフサイエンス連携プロジェクト検討委員会を開催。2年間で医療を核とした新たな連携プロジェクトの可能性や研究開発拠点の在り方を検討する。

⑪神戸市

- ・ ポートアイランド第2期を中心に、高度医療技術の研究開発・開発拠点を整備し、医療関連産業の集積による、①市民福祉の向上、②神戸経済の活性化、③国際社会への貢献、を目指す。
- ・ 昨年度は彩都と共同提案した「知的クラスター創成事業(第Ⅱ期)」や、「橋渡し研究支援推進プログラム」への研究支援拠点及びサポート拠点の採択を受ける。
- ・ 現在、進出済み及び進出決定企業は127社と集積が進んでいる。
- ・ 23年春には新中央市民病院の移転・開業、また次世代スーパーコンピュータは22年度稼働、24年度本格稼働予定。

⑫関西経済連合会

- ・ けいはんなにおいて光医療産業バレー構想を進めている。
- ・ 18年度は文科省の科学技術振興調整費「先端融合療育イノベーション創出拠点の形成」制限付き採択を受け、19年度再提案し採択を受ける。
- ・ 革新的超コンパクト粒子線がん治療装置の産業化の促進を目指す。

⑬近畿商工会議所連合会

- ・ 次世代医療システム産業化フォーラム2008を実施。全国の大学・研究機関、医療機関から共同開発提案が集まるプラットフォームとして、医療・バイオ機器産業の振興を目指す。

(3) 国側の報告

- ・ 内閣府、総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省から、各府省におけるライフサイエンス関連支援施策及び関連予算等について紹介。

6 主な意見

- ・ 多額の研究資金が必要であるが、バイオ産業が長期スパンにならざるを得ず、いかに資金を調達するかが大きな問題。一部成功した企業もあるが、大抵はそこにたどり着く前に沈没してしまう。上場企業が増えないのは資金調達の問題があるからだと思う。
- ・ ベンチャー企業には大手金融機関は手を出しにくい。例えば地域の信用金庫・信用組合等が支援しやすい環境づくりが必要。

7 その他

事務局より、次回開催については関西バイオ推進会議事務局(近畿商工会議所連合会)と調整し改めて連絡する。

8 閉会

以上